



なゆたん通信



今回は「このあいだに なにがあった」という絵本をご紹介します。

子どもと共に生活する中で、こんなことはありませんか？

おとなしく遊んでいるな~と思ったら顔が口紅だらけ…
今日は忘れ物していないと思ったら教科書が友達のもの!?

まったくもう!と叱る前にちょっと推理して見ませんか？



…何があった？

もしかしたら、顔に口紅をぬらざるを得ない重要な理由が!?
友達と教科書を交換しちゃうほどの友情物語が!?
こんな推理力と想像力を働かせてみたら、怒る前に笑えてきちゃいませんか？

推理力とは、簡単にいうと なぞなぞを解く力のこと。子どもたちは なぞなぞが大好きです。
作者は、あのピタゴラスイッチの企画・監修をしている佐藤雅彦さん。
何気ない暮らしに隠されている謎、不思議を取り上げ、想像力や考える力を育む楽しい絵本に仕上がっています。

この本を読むと、日常の切り取り方がまた一つ増えたようで、生活がほんの少し豊かになるかもしれせん。今も常に、世の中では「あいだ」に様々な出来事が起こっています。
大人も子どもも「あいだ」にある物語を想像し、思いを巡らせる推理力があれば、抱えている問題もうまくいくはず!幸せな未来を築けるかも?これは私の推理と言うことで…

佐藤雅彦(さとう まさひこ)
「だんご3兄弟」の作詞とプロデュース
NHKの人気番組、「ピタゴラスイッチ」その監修も手掛けています
その彼が携わったCMの代表作は1988年「スコーン」(湖池屋)
1990年「ポリンキー」(湖池屋)
1991年「バザールでござーる」(NEC)
1994年「ドンタコス」(湖池屋)

